

**大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に
関する検討会
インターネット利用WG
－ 質問回答 －**

**2011年6月10日
NECビッグロブ(株)
岸川徳幸**



質問1回答

- ①資料12ページで「利用者より緊急通信を指定する仕組み」とあるのは具体的にはどのような方法を想定されているのでしょうか。

NGNで実現されている技術では、SIPによる通信先との優先帯域確保に相当します。ただし、アプリ側でSIPに対応したソフトウェアの開発が必要です。

質問2回答

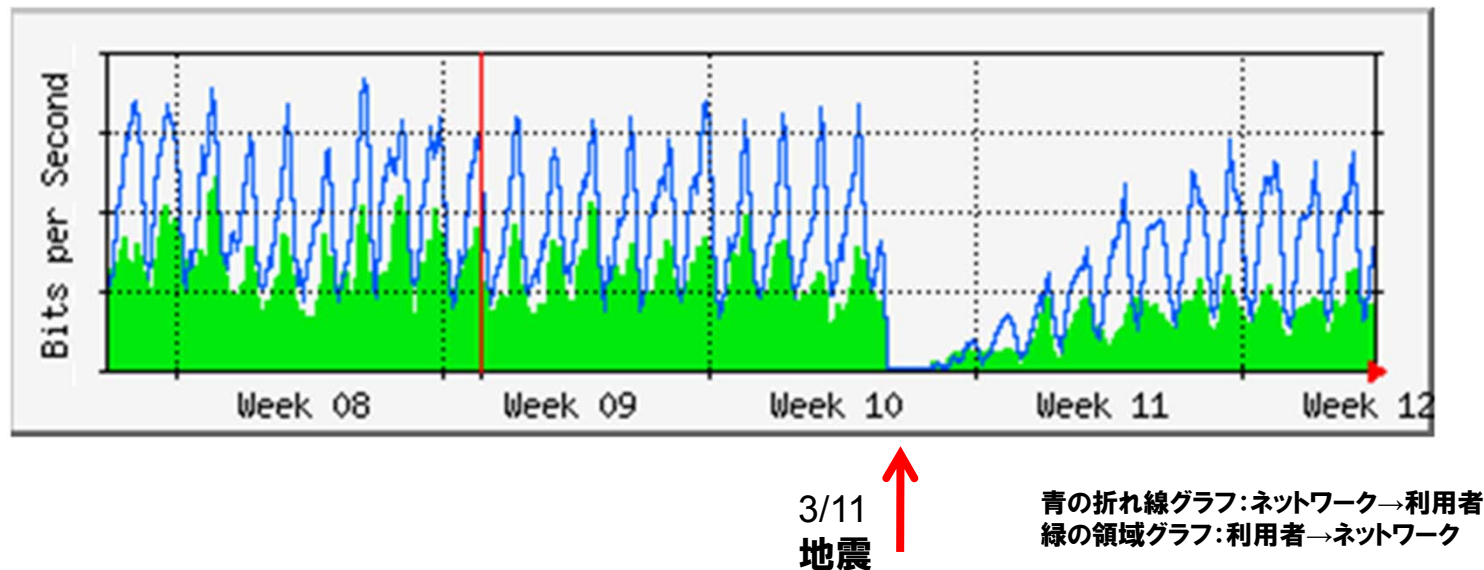
②資料15ページで「情報集約システムへのリンク」と書かれています
が、情報集約システムがボトルネックとなることについてどのよう
にお考えでしょうか。

情報集約システムボトルネックとならないようにすることは可能と考えています。
現在、クラウド化が進展しつつあります。この環境では、必要なリソースをオンデ
マンドに拡張できるスケールアウト構成は容易に導入できます。情報集約システ
ムの機能である、集める、処理する、広めるという三段階あるうち、集める、広め
るはデータ量に応じたスケールアウト構成をとることによりボトルネックは解消する
ことができます。課題は処理する部分ですが、あらかじめ集めるデータを想定して
おりかつHadoop等の分散処理システムをクラウド上で動作プログラムを作成して
いけば高速に処理が可能です。あらかじめの処理を考えておき、日ごろから動作
させていることがポイントと考えています。

質問3回答

③震災直後からの時間的な回復の経過、状況の経過のデータをお願いしたい。

宮城県のユーザが収容されているPOI(宮城県全域)における地震発生前後2週間の2時間平均トラヒックの推移

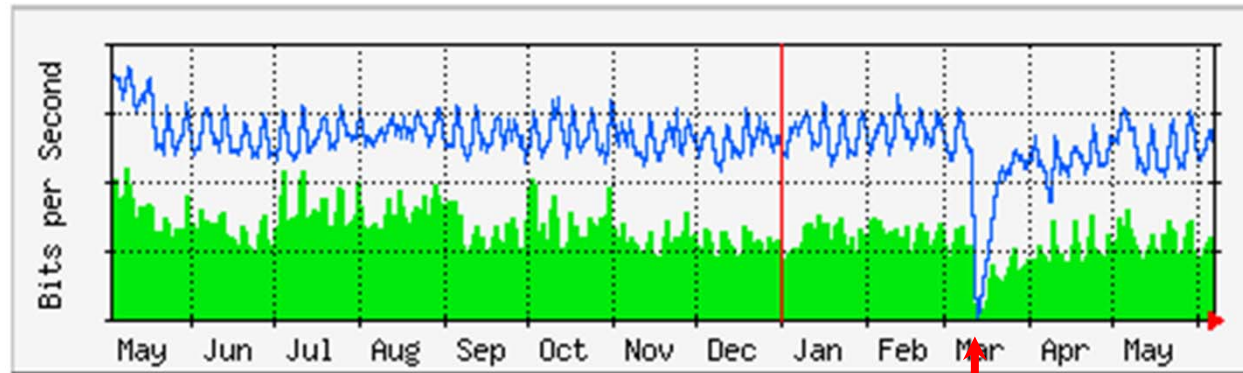


震災地域では、2日は完全に利用を停止

質問3回答(つづき)

フレッツ地震発生前後一年間の一日平均トラフィック推移

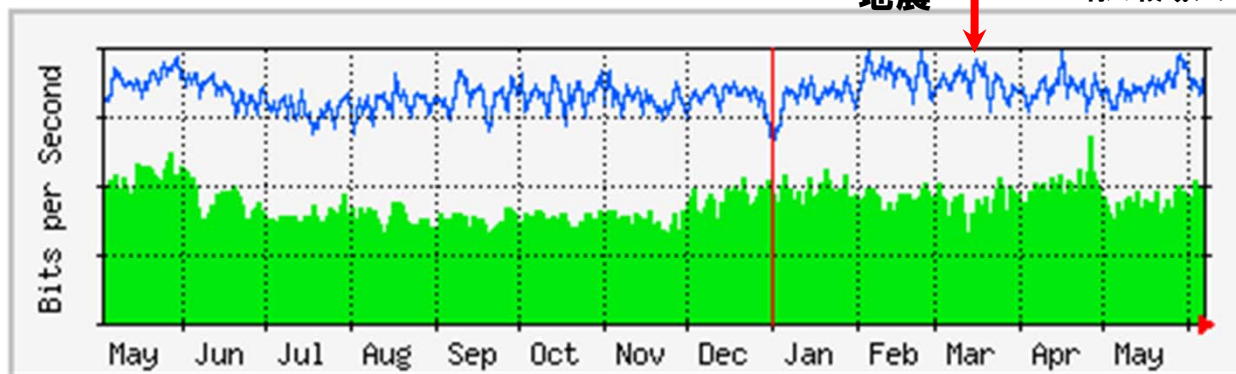
宮城



3/11
地震

青の折れ線グラフ: ネットワーク→利用者
緑の領域グラフ: 利用者→ネットワーク

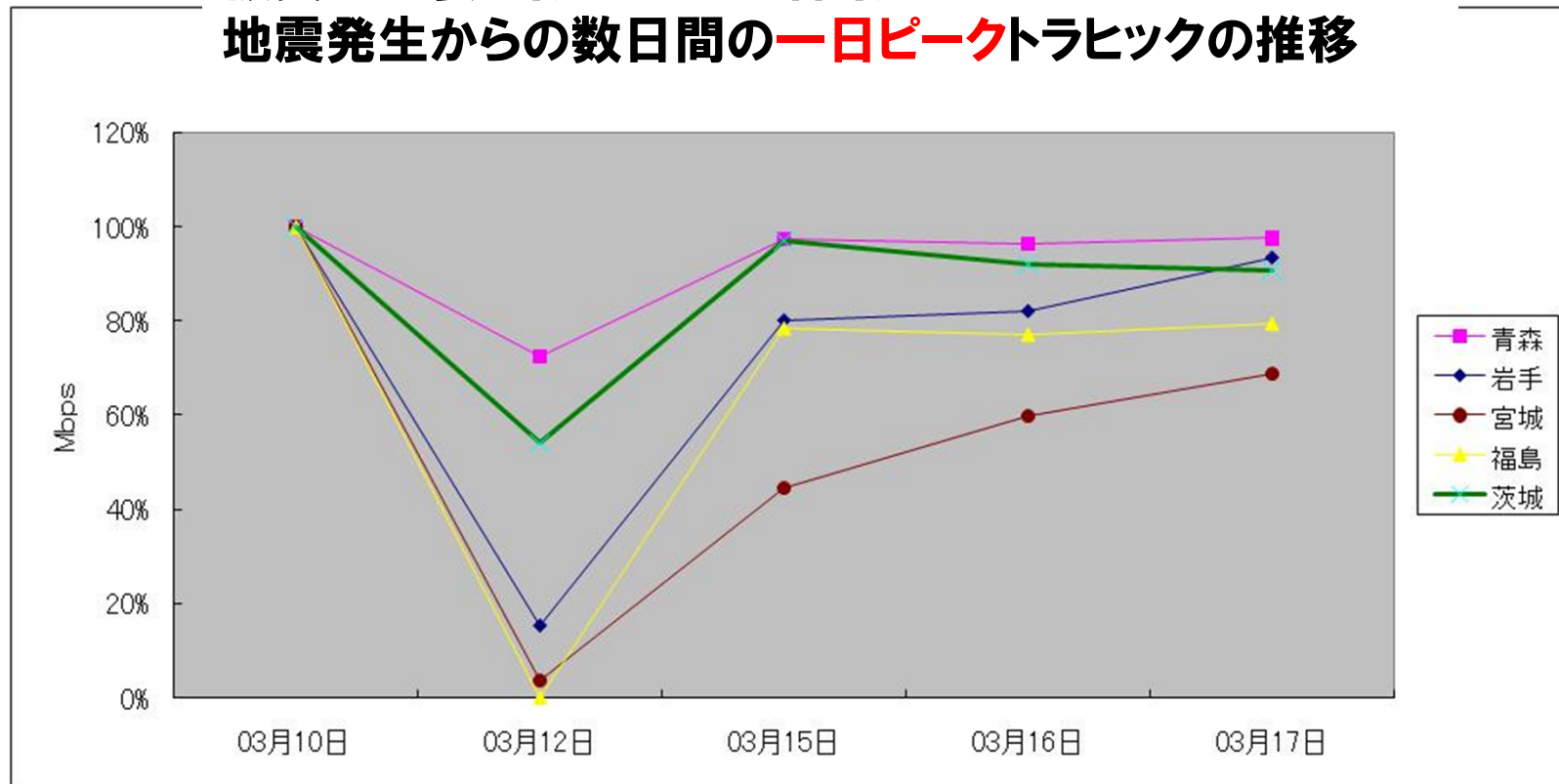
東京



震災地域以外では利用は平常どおり

質問3回答(つづき)

被災地主要5県のフレッツ各県POIにおいての地震発生からの数日間の一**日ピーク**トラヒックの推移



以上